

# ベイサイドかわらばん

令和 5 年 9 月版  
支部長 安井正己  
制作 情宣事業部

## 第61回 千葉県理容野球大会

9月11日(月)《準決勝》

蒸す！今日は先週より蒸し暑い。

ワイルドカードを制して準決勝に上がった我が葛南スリッカーズは2連覇を目指す  
千葉メッツと千葉シザーズの良いとこ取りの新生千葉ユナイテッドとの楽には勝てない試合となる。

葛南先攻でプレイボール！三者凡退で0…。

裏千葉の攻撃には葛南の2エラーとヒットを打たれ3点を奪われた。  
何故か今年の葛南はエラーが目立つ！

監督は言う「エラーはしかたがない！その後が重要である！」と言っていたが  
真っ赤な顔して怖い赤鬼のよう！イライラしているみたいなので近づけない…。

2回の攻撃には葛南らしさがでてフォアボール盗塁ヒットと打線が続き  
8点を取って有利な試合展開と思いきや  
監督は5点差なんてひっくり返されてしまうからしまっていけ！とゲキを飛ばす！！

3回にも1点を取り9-3としたのだが  
裏に1点4回に4点5回に2点を取られ簡単にひっくり返された！  
監督を見ると噴火寸前…怖い…。

最終回ツーアウトに監督自ら代打俺！  
セカンドにランナーがいてヒットが出れば同点！  
ホームランなら逆転！  
俺なら最後のバッターにはなりたくない。が監督に期待！

ベンチからもバッターボックスの監督に「頼む」「1発」  
「狙え」などの声が出て見守るが初球からバットを振りショートフライにてゲームセット！  
暑くて蒸す夏が終わった瞬間だった。悔しい1点差の試合でした。

決勝は成田ヤンキース対千葉ユナイテッドとなります。  
皆様応援ありがとうございました。



宇田川大助